

病院だより92



美祢市立美東病院医師の紹介

昨年の6月～7月にかけて美祢市有線テレビで美東病院の医師をインタビュー形式で紹介する番組を放送しました。医師の紹介を兼ねて、数回にわたりインタビューの主な内容をお知らせします。

【質問】 整形外科を専門とされていますが、具体的にはどのような患者さんを専門に診ておられるのでしょうか。

【小田医師】 整形外科医として、「運動器疾患」の診療をしています。

運動器とは、私たちの身体の運動にかかわる頸や腰などの脊椎や手足を含む四肢の骨、筋肉、関節、神経などの総称です。損傷すると、痛み・しびれをはじめ、運動障害を引き起こしますので、日常生活に多大な支障をきたします。この運動器疾患の診断と治療を行います。

なかでも、私の専門は脊椎で、特に腰、腰疾患です。近年腰痛の診療は、飛躍的進歩を遂げました。手術せずに治せる領域が拡大してきました。

そこで、腰痛に悩んでおられる方がおられましたら、いつでも気軽に、ご相談・受診をしてください。

【質問】 整形外科専門医の資格をお持ちですが、どのような資格なのでしょう。

【小田医師】 整形外科の専門医です。以前は日本整形外科学会制定の専門医でしたが、平成29年より国が制定しました日本専門医機構認定の機構専門医です。“運動器”全般の病気について、より質の高い診療の責務が担保されています。

【質問】 美東病院に赴任される前は、どちらの病院にお勤めだったのでしょうか。

【小田医師】 平成26年より美東病院で診療していますが、実は美東病院は2度目です。昭和49年から平成11年までの25年間、山口大学整形外科より毎週金曜日に診療させていただきました。その際には沢山の手術を実施させていただきました。現在もその時代の患者さんが多数お見えになっています。



【資格】

日本専門医機構認定整形外科専門医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
日本整形外科学会認定スポーツ医 ほか

整形外科医 小田 裕胤(おだ ひろつぐ)

その後、現在の周南市にあります新南陽市民病院の設立に参画しまして、院長、名誉院長として15年間、周南市に赴任していました。

【質問】 最後に、美祢市立美東病院でのこれからの目標や抱負などをお聞かせください。

【小田医師】 以前の美東病院もそうでしたが、現在の美東病院は美祢市の東部地区の基幹病院です。

特に、高齢化が急速に進行してまいりました現在では、以前にもまして、身近な基幹病院としての役割が求められています。

高齢者の脊椎や四肢に発生します“運動器”疾患は深刻な日常生活の障害に直結します。とくに骨折を含む外傷では寝たきりへの移行のリスクが高くなります。その際に気軽に受診いただき、最良の治療へのお手伝いの役割が担えたらと思います。

もし、手術的治療が必要でしたら、山口大学整形外科をはじめ近隣の病院とは密接な連携を取っておりますので、遅滞なく手術を実施していただき、手術後のリハビリに関しましては優秀なスタッフが揃っておりますので、美東病院でも対応可能です。